



九十一年の学びびやに幕



閉校記念碑の除幕式 撮影 橋本建男

横井小学校は、明治四十二年九月の開校以来、二、六〇〇人余りの子どもたちが、横井の丘の木造校舎から巣立って行きました。
この横井小学校は今年三月で、九十二年間の歴史の幕を閉じ、木崎小学校へ統合されました。九十二年間の歩みを学区区の皆さんの声とともに伝えたいと思います。

横井小学校は、明治・大正・昭和そして平成の時代を経て、平成十四年三月で九十二年間の歴史の幕を閉じました。
明治四十二年九月一日、鳥屋と尋常小学校と笠柳尋常小学校が統合し、横井小学校の前身である「横井尋常小学校」が開校しました。その二年後には横井地内の小高い場所に新校舎が新築されました。

その後、全国に知られた木崎争議（大正十四年）や太平洋戦争（昭和十六年）があり、市制施行（昭和四十五年）など数々の歴史的場面を乗り越えてきました。

この間、二、六〇〇人余りの子どもたちがこの学舎を巣立っていきました。多い時には、二五五人を数えた全校児童数も平成十三年度は六三人となっていました。

今後も更に減少が続く複式学級となることが見込まれたため、木崎小学校と統合することになりました。

思い出の横井小

木崎争議



佐藤 肇さん (83歳 昭和5年度卒 鳥屋)

木崎争議は、笠柳・横井の農民が小作料（田・畑の使用料）を減らしてくるよう地主に要求し、一部地主が要求を拒否したことから始まりました。木崎争議が激しさを増した大正十五年、私は小学校二年生でした。古い校舎で、先生がわずか四人しかいなく複式学級でした。

五月五日、友だちと二人で小学校から家へ帰る途中で、農民と警察が耕地への立ち入りで衝突しているところを見ました。家に帰ると父親が警察に連れて行かれたと聞かされ、幼心に救いに行こうと友だちと二人で話していたことが思い出されます。

その後は、横井小学校には行かなくなり、鳥屋集落の公民館で開かれた農民学校へ通いました。

農民学校の入口には、警察署員が一人立っていて、うどん箱を机代わりに二人の先生が教えてくれました。

警察署員とは次第に仲良くなり、鉄棒のやり方を教わった記憶があります。

思い出を大切に卒業



山田葉瑠奈さん (平成13年度卒 横井)

私の一番の思い出は、昨年七月に行った「全校学校おとまり会」です。全校児童が横井小学校の体育館に泊まり「きもだめし」「花火大会」などで楽しい一晚を過ごしました。

校舎はなくなっても、私たち六年生全員が書いた「われらが 横井小学校」の記念碑はずっと残ります。中学生になっても、横井小学校で学んだ「だれに対しても元氣よくあいさつをする」ことは続けていきたいです。

跡地利用は？



横井小学校跡地へは、横土居保育園が移転する予定です。

平成十五年に工事着手して、平成十六年四月に開園予定です。地域と交流するスペースや子育て支援センターを併設、園庭は地域の公園としても利用できる広いスペースをとる計画です。保育園用地以外の土地利用は、今後、地域の人たちと相談しながら計画を立てる予定です。

一年生から四年生の小作人の子どもは、全て農民学校に通ったと思います。九月に入り県の調停により、二学期からは横井小学校へ登校するようになりました。



農民学校の先生方

校歌と校旗



坂田 ミツさん (59歳 昭和29年度卒 笠柳)

横井小学校の校歌と校旗は、昭和二十九年二月にできました。

横井小学校の歩み

明治42年 鳥屋尋常小学校と笠柳尋常小学校が統合し「横井尋常小学校」が開校する
明治44年 現在地に校舎が新築される



新築された校舎

- 大正14年 木崎村立木崎尋常高等小学校と改称（当校の名前は同校第3部横井校舎となる）
- 昭和23年 統一校が解かれ「木崎村立横井小学校」となる。PTAが結成される
- 昭和29年 校歌と校旗ができる
- 昭和30年 豊栄町立横井小学校となる
- 昭和33年 校庭の拡張工事が完了して記念式典と大運動会を実施
- 昭和43年 現校舎改築完成
- 昭和45年 現体育館および児童玄関等の工事完成
創立60周年記念式典実施
豊栄市立横井小学校となる
- 昭和46年 簡易水泳プール完成。完全給食開始
- 昭和48年 新潟県学校保健優良校表彰（管理部門）
- 昭和53年 グラウンド拡張工事完成
- 昭和58年 卒業記念としてグラウンドの周囲に桜を植樹
- 平成元年 創立80周年記念行事としてモミの木を植樹
- 平成9年 全国花いっぱい運動コンクール奨励賞受賞
- 平成13年 ビッグスワンオープニングイベントに市の代表として参加
横井小学校記念碑除幕式